

令和6年度
医療的ケアを要する小児等の実数調査
(結果報告)

群馬県生活こども部児童福祉課
群馬県医療的ケア児等支援センター

【調査の目的等】

1 趣旨・目的

本県では、県内の医療的ケア児等の数や必要な医療的ケア等の状況を把握し、今後の支援策の基礎資料とするため、「医療的ケアを要する小児等の実数調査（以下、実数調査）」を医療的ケア児等の診療を行っている医療機関に実施してきた（調査年度：平成29、30、令和元年、4年度）。

令和3年9月の医療的ケア児支援法の施行により、地方公共団体は医療的ケア児等の支援施策を実施する責務を有することとなり、令和5年度医療的ケア児等支援センターの設置に伴い、センターにおいて本調査を実施した。

2 調査時期

令和6年12月～令和7年1月

3 調査基準日

令和6年10月1日

4 対象

病院：小児科を標榜する病院等のうち21施設

（令和5年度医療的ケア児等支援に関する社会資源調査において、医療的ケア児等の診療実績ありと新たに回答した2施設を追加）

診療所：小児科を標榜する診療所または在宅療養支援診療所のうち8施設

（今後の地域移行の参考とするため今年度調査から診療所を追加）

5 調査方法

上記調査対象施設について、調査票を送付し回答を依頼した。回答が得られなかった施設については、調査基準日に医療的ケア児等の診療をしていなかったことを確認した。

	R4年度 実数調査	R5年度 社会資源調査	合計	回答数
病院	19	2（新）	21	18
診療所（新）	—	8	8	3

6 調査項目

性別、生年月、居住（出身）市町村、主な基礎疾患、重症度、必要な医療的ケア、普段の生活の場（在宅、入院、入所）、主な生活の場の種別（保育所等、児発、特別支援学校、市町村立学校等）、退院時支援会議の有無（R5年6月30日以降の退院）、コーディネーターの参加の有無 ※センター事業の評価のため下線部の調査項目を追加

【結果の概要】

- ・県内の医療的ケア児等の人数は、在宅454人、入院・入所192人、計646人であった。また、在宅、入院・入所ともに男性が多かった。令和4年度と比較して、在宅の人数が51人増加した。
- ・年齢は0歳～77歳（令和6年10月現在）にわたったが、在宅では20歳未満が多く（370人,81%）、入院・入所者では20歳以上（148人,77%）が多い傾向であった。令和4年度と比較して、20歳未満が28人増加した。
- ・二次保健医療圏別（人口1万人対）の在宅の人数については、多い順に、桐生、富岡、前橋という結果であった。
- ・在宅での必要な医療的ケアについては、多い順に「経管栄養」「胃ろう」「在宅酸素療法」「口鼻腔吸引」「気管切開」「気管内吸引」「非侵襲的人工呼吸器」「導尿」「気管切開人工呼吸器」「経鼻胃チューブ」「中心静脈カテーテル」「腸ろう」であった。
- ・重症心身障害児（者）（大島分類により判定）の割合は、「在宅」（48%）より「入院・入所」（95%）の方が高い傾向であった。

【調査結果】

1 性別 (単位：人)

項目	在宅	入院・入所	計
男	233	111	344
女	221	81	302
計	454	192	646

2 年齢階層別 (単位：人)

項目	在宅	入院・入所	計
乳幼児期	109	18	127
学齢期	251	23	274
その他	94	151	245
20歳未満	370	44	414
20歳以上	84	148	232
計	454	192	646

※乳幼児期：0～5歳、学齢期：6～18歳、その他：19歳以上

3 二次保健医療圏別 (単位：人)

二次保健医療圏	在宅	入院・入所	計
前橋	83	33	116
渋川	27	18	45
伊勢崎	55	14	69
高崎・安中	102	49	151
藤岡	7	9	16
富岡	17	5	22
吾妻	7	4	11
沼田	14	12	26
桐生	47	21	68
太田・館林	95	27	122
計	454	192	646

4 主な基礎疾患（重複あり）

（単位：人）

項目	在宅	入院・入所	計
周産期脳障害	64	88	152
後天性脳障害	32	50	82
染色体異常/先天異常症候群	82	20	102
神経筋疾患	23	3	26
その他の神経疾患	114	64	178
循環器系疾患	42	2	44
消化器系疾患	30	4	34
呼吸器系疾患	51	0	51
その他・分類不能	88	5	93
計	526	236	762

5 必要な医療的ケア（複数回答可）

（単位：件）

項目	在宅	入院・入所	計
経管栄養	237	180	417
口鼻腔吸引	141	107	248
胃ろう	201	118	319
在宅酸素療法	161	40	201
気管切開	79	70	149
経鼻胃チューブ	37	58	95
気管内吸引	71	74	145
気管切開人工呼吸器	40	39	79
非侵襲的人工呼吸器（鼻マスク等）	69	16	85
導尿	51	3	54
中心静脈カテーテル	12	1	13
腸ろう	0	1	1
その他	27	10	37
計	1,126	717	1,843

※「その他」の中には、医療的ケアに当てはまらない項目が含まれる可能性があります。

【参考】	在宅	入院・入所	計
インスリン	17	0	17
低血糖対応	29	0	29
成長ホルモン	9	0	9
自己注射	37	0	37
計	92	0	92

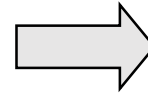
6 重症度

・下表については、大島分類に基づき集計した結果であり、太枠囲いの部分が重症心身障害児（者）とされている。

(1) 在宅

(単位：人) 知能発達

100	19	8	16	11	A：境界域～正常
16	9	5	6	2	B：軽度
4	3	4	10	6	C：中度
2	7	0	7	18	D：重度
0	4	3	12	181	E：最重度



計 218 人(48%)

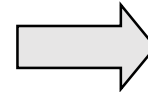
運動発達 走れる 歩ける 歩行障害 座れる 寝たきり

※1名は重症度不明のため合計人数は453名

(2) 入院・入所

(単位：人) 知能発達

1	0	0	0	0	A：境界域～正常
0	0	0	0	0	B：軽度
0	0	0	1	3	C：中度
0	0	0	2	5	D：重度
0	1	4	15	160	E：最重度



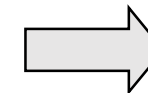
計 182 人(95%)

運動発達 走れる 歩ける 歩行障害 座れる 寝たきり

(3) 合計（在宅、入院・入所）

(単位：人) 知能発達

101	19	8	16	11	A：境界域～正常
16	9	5	6	2	B：軽度
4	3	4	11	9	C：中度
2	7	0	9	23	D：重度
0	5	7	27	341	E：最重度



計 400 人(62%)

運動発達 走れる 歩ける 歩行障害 座れる 寝たきり

※1名は重症度不明のため合計人数は645名

7 二次保健医療圏別の人数（人口1万人当たり）

（単位：人）

二次医療圏	在宅 (1万人比)	入院・入所 (1万人比)	医療的 ケア児等計 (1万人比)	人口(※) (R6.10現在)
前橋	2.52	1.00	3.52	329,279
渋川	2.46	1.64	4.11	109,551
伊勢崎	2.22	0.57	2.78	247,787
高崎・安中	2.43	1.17	3.59	420,204
藤岡	1.09	1.40	2.49	64,223
富岡	2.60	0.77	3.37	65,317
吾妻	1.39	0.79	2.19	50,336
沼田	1.88	1.61	3.49	74,602
桐生	3.13	1.40	4.53	149,945
太田・館林	2.38	0.68	3.06	399,082
計	2.38	1.01	3.38	1,910,326

（※出典：群馬県移動人口調査）

【参考】

網掛け部分は県全体の値より高い

20歳未満の医療的ケア児（在宅）は370人で、人口1万人当たり1.94人

8 二次保健医療圏別の年齢階層・在宅 (単位：人)

二次医療圏	乳幼児期	学齢期	その他	20歳未満	20歳以上	計
前橋	17	51	15	68	15	83
渋川	8	15	4	24	3	27
伊勢崎	12	34	9	46	9	55
高崎・安中	30	55	17	89	13	102
藤岡	2	4	1	6	1	7
富岡	3	12	2	15	2	17
吾妻	2	4	1	6	1	7
沼田	2	9	3	11	3	14
桐生	15	16	16	33	14	47
太田・館林	18	51	26	72	23	95
計	109	251	94	370	84	454

乳幼児期：0～5歳、学齢期：6～18歳、その他：19歳以上

9 二次保健医療圏別の必要な医療的ケア・在宅

(単位：件、人)

二次医療圏	経管栄養	口鼻腔吸引	胃ろう	在宅酸素療法	経鼻胃チューブ	気管切開	気管内吸引	非侵襲的人工呼吸器 (鼻マスク等)	気管切開人工呼吸器	導尿	中心静脈カテーテル	腸ろう	その他	実人数
前橋	41	26	34	30	5	13	10	14	7	7	2	0	0	83
渋川	15	12	13	13	2	7	6	4	5	4	1	0	0	27
伊勢崎	32	21	29	24	4	8	8	4	2	10	2	0	0	55
高崎・安中	63	38	55	41	8	20	20	14	11	10	2	0	0	102
藤岡	4	1	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	7
富岡	8	5	9	11	0	3	3	1	1	1	0	0	0	17
吾妻	4	1	4	3	0	1	1	3	0	1	1	0	0	7
沼田	5	3	3	6	1	4	4	1	2	0	0	0	0	14
桐生	27	19	25	14	9	12	11	10	7	8	0	0	0	47
太田・館林	38	15	26	18	7	11	8	18	4	9	4	0	0	95
計	237	141	201	161	37	79	71	69	39	51	12	0	0	454

10 年齢階層別の必要な医療的ケア・在宅

(単位：件、人)

項目	経管栄養	口鼻腔吸引	胃ろう	在宅酸素療法	経鼻胃チューブ	気管切開	気管内吸引	非侵襲的人工呼吸器 (鼻マスク等)	気管切開人工呼吸器	導尿	中心静脈カテーテル	腸ろう	その他	実人数
乳幼児期	54	22	31	48	20	18	18	21	11	8	5	0	0	109
学齢期	117	70	104	83	9	43	34	30	16	36	5	0	0	251
その他	66	49	66	30	8	18	19	18	13	6	2	0	0	94
20歳未満	177	98	142	135	30	63	54	53	29	47	10	0	0	370
20歳以上	60	43	59	26	7	16	17	16	11	4	2	0	0	84
計	237	141	201	161	37	79	71	69	40	50	12	0	0	454

乳幼児期：0～5歳、学齢期：6～18歳、その他：19歳以上

1.1 年度別比較 (H29～R6)

【比較結果の概要】

- ・ 県内の医療的ケア児等の人数は、在宅、入院・入所とも増加傾向にあり、全体のうち在宅の占める割合は約7割で推移している。
- ・ 在宅の20歳未満の人数は、平成29年度から比べ多くなっている。
- ・ 重症心身障害児（者）は増加の傾向にある。

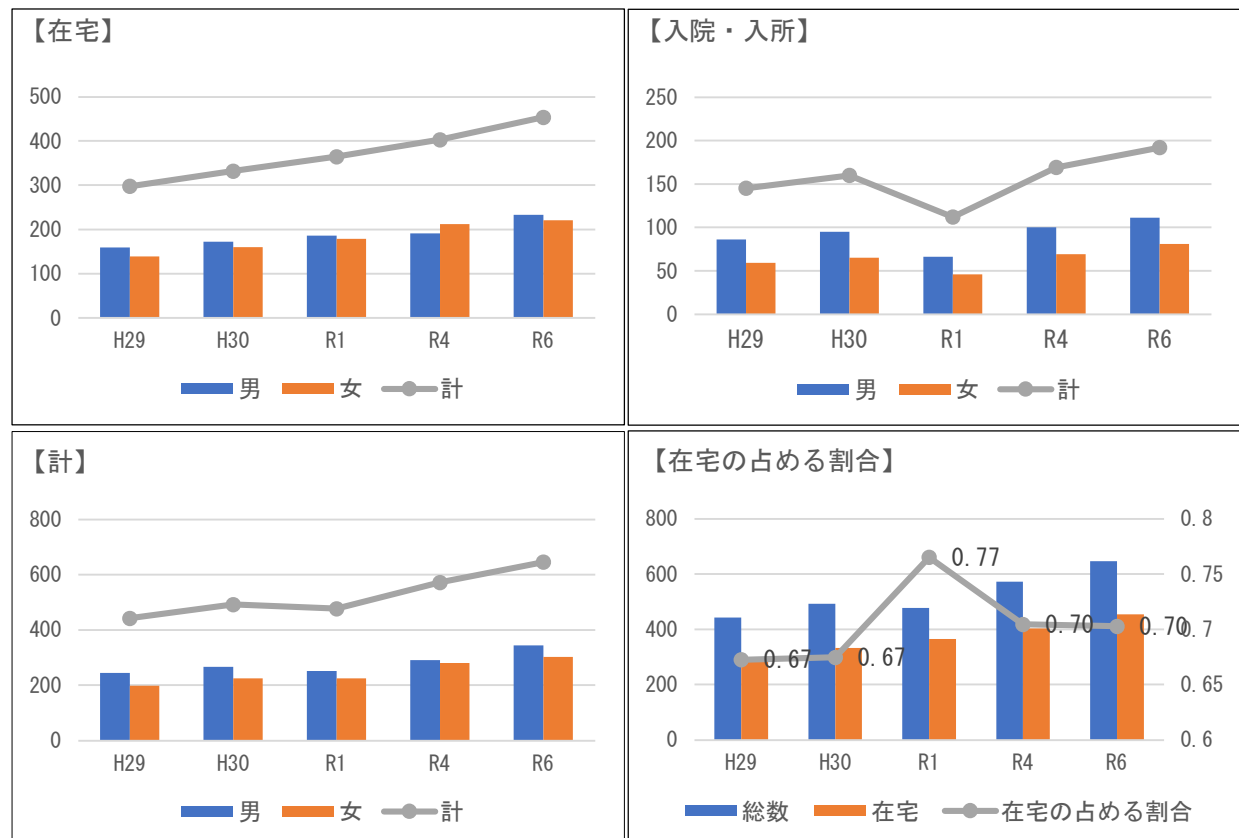
(1) 性別・生活の場所

(単位：人)

性別/在宅	H29	H30	R1	R4	R6
男	159	172	186	191	233
女	139	160	179	212	221
計	298	332	365	403	454

性別/入院・入所	H29	H30	R1	R4	R6
男	86	95	66	100	111
女	59	65	46	69	81
計	145	160	112	169	192

性別/計	H29	H30	R1	R4	R6
男	245	267	252	291	344
女	198	225	225	281	302
計	443	492	477	572	646



(2) 年齢・階層別

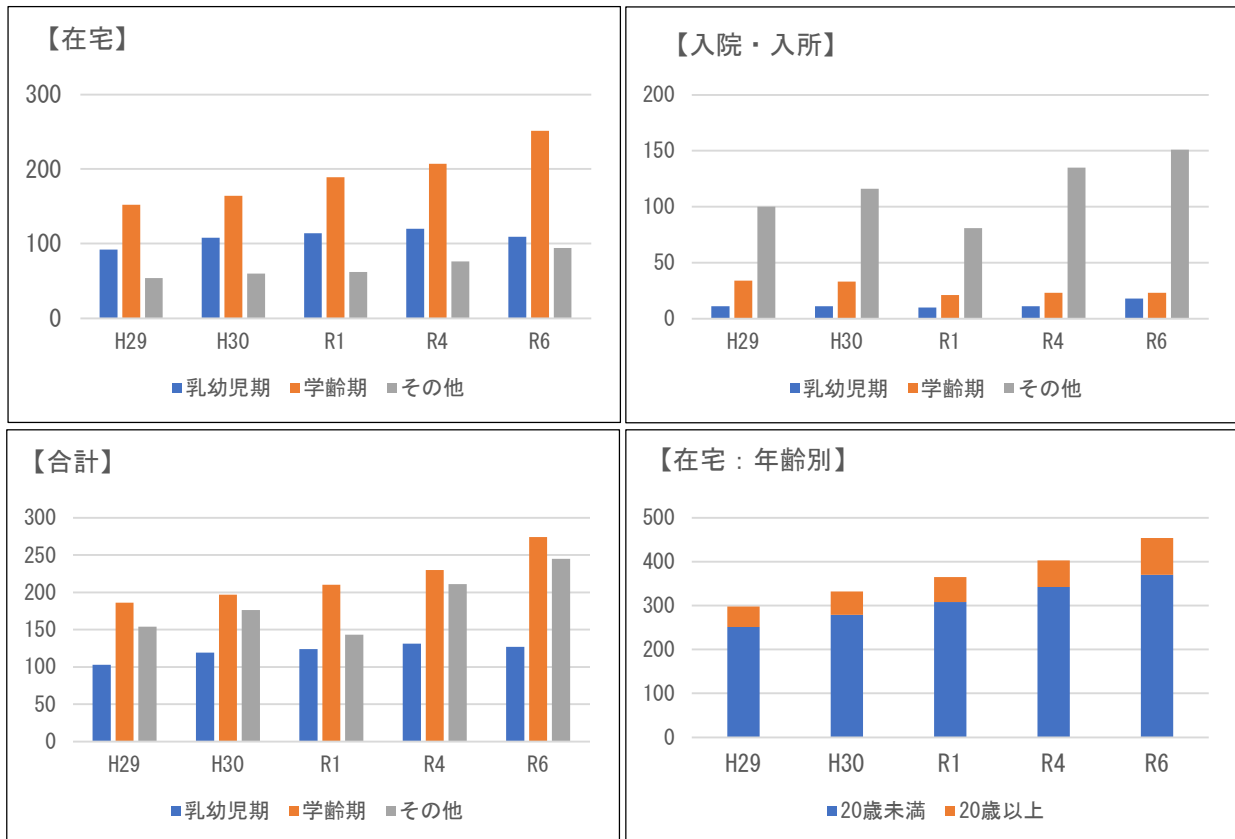
(単位：人)

年齢/在宅	H29	H30	R1	R4	R6
乳幼児期	92	108	114	120	109
学齢期	152	164	189	207	251
その他	54	60	62	76	94
20歳未満	251	279	308	342	370
20歳以上	47	53	57	61	84

年齢/入院・入所	H29	H30	R1	R4	R6
乳幼児期	11	11	10	11	18
学齢期	34	33	21	23	23
その他	100	116	81	135	151
20歳未満	46	48	32	38	44
20歳以上	99	112	80	131	148

年齢/計	H29	H30	R1	R4	R6
乳幼児期	103	119	124	131	127
学齢期	186	197	210	230	274
その他	154	176	143	211	245
20歳未満	297	327	340	380	414
20歳以上	146	165	137	192	232

乳幼児期：0～5歳、学齢期：6～18歳、その他：19歳以上



(3) 二次保健医療圏別

(単位：人)

二次保健医療圏/在宅	H29	H30	R1	R4	R6	二次保健医療圏/入院・入所	H29	H30	R1	R4	R6
前橋	53	64	70	81	83	前橋	19	23	18	27	33
渋川	27	31	29	24	27	渋川	6	7	7	14	18
伊勢崎	35	43	45	54	55	伊勢崎	11	16	10	12	14
高崎・安中	74	81	82	87	102	高崎・安中	38	38	37	34	49
藤岡	8	8	4	5	7	藤岡	5	8	5	7	9
富岡	7	7	10	14	17	富岡	5	5	3	4	5
吾妻	6	7	6	6	7	吾妻	4	5	5	6	4
沼田	12	11	11	9	14	沼田	11	12	10	12	12
桐生	33	40	43	43	47	桐生	29	19	7	24	21
太田・館林	43	40	65	80	95	太田・館林	17	27	10	29	27
計	298	332	365	403	454	計	145	160	112	169	192

二次保健医療圏/計	H29	H30	R1	R4	R6
前橋	72	87	88	108	116
渋川	33	38	36	38	45
伊勢崎	46	59	55	66	69
高崎・安中	112	119	119	121	151
藤岡	13	16	9	12	16
富岡	12	12	13	18	22
吾妻	10	12	11	12	11
沼田	23	23	21	21	26
桐生	62	59	50	67	68
太田・館林	60	67	75	109	122
計	443	492	477	572	646

(4) 重症度（大島分類）

（単位：人）

重症度/在宅	H29	H30	R1	R4	R6
重症心身障害児（者）	177	187	204	210	218

重症度/入院・入所	H29	H30	R1	R4	R6
重症心身障害児（者）	133	149	104	158	182

重症度/計	H29	H30	R1	R4	R6
重症心身障害児（者）	310	336	308	368	400

